

平成 25 年 1 月 31 日
メディアスエフエム番組審議会事務局

メディアスエフエム第 33 回番組審議会 議事録

1. 開催日時

平成 25 年 1 月 30 日（水）16 時 00 分から 17 時 15 分

2. 開催場所

知多メディアスネットワーク(株) 3 階 すいせん西会議室

3. 出席者 ※敬称略、五十音順

委員) 角田 由紀子、加藤龍子、紀藤輝明、田中勝志郎、寺島賀子、林繁八 以上 6 名
事務局) 高池文夫 (代表取締役常務)、松山崇臣 (コンテンツ部編成企画G)
酒井佳恵、三輪武司 (コンテンツ部ラジオ制作グループ)

4. 議事内容

(1) 報告事項・・・事務局

- ① 平成 24 年 12 月、平成 25 年 1 月の活動報告
- ② 今後の予定について

(2) 番組について審議・・・委員

- ・メディアスエフエム 834 劇場
- ・その他

5. 審議内容

○活動報告についてのご意見

特別番組「メディアスミュージックフェス アーティストスペシャル」について

紀藤委員／番組を車の中で部分的だが 3 回聴いて、イベントに行きたいと思った。
繰り返して放送することは応募を促す効果があると思う。

特別番組「子ども芸能発表会」について

加藤委員／番組は、どのように収録をするのか？

事務局／会場の P A からラインで音声をもらう予定。

加藤委員／子どもたちにとってせっかくのいい機会なので、
キレイな音で録ってほしい。

○番組審議

「メディアスエフエム 834 劇場」について

林委員／出演者の演技が非常にうまい、発音もいい。

企画もいいので今後も続けた方がよい。

しかし、聴いていて耳がついていけない時がある。演技に多少、抑揚があってもいいのかもしれない。朗読コーナーぐらいの読み方だと聴きやすいと思う。ラジオは聴く人に想像してもらうもの。聴いている人に場面が浮かぶように、想像を持たせられるように話し方、間の取り方を大切にしてほしい。舞台上で演じるような形で収録してみてはどうか。

加藤委員／出演者の一生懸命さはとても伝わってくるが、若者言葉に聴く人が戸惑うときがあるのでは。また、出演人数が多いときは作品の完成度が低いような気がする。そして、効果音が少ないと思う。もっと入れたほうがいいのではないか。

事務局／演技については継続的に指導していく。効果音に関しては制作者に増やせるか確認する。実際に舞台上で演じたのを番組にすることについては今後検討していきたい。

角田委員／台本を公募にしてみてもどうか。幅広い年代の人が演じられる台本ができると思う。

事務局／出演者を若者にこだわっているので、公募にすると、若者出演にふさわしい役への台本書き換えや尺の調整など労力が増えてしまう可能性が高い。しかし、今後はシナリオコンテストなどを含め検討してみたい。

寺島委員／1時間は長い。最後まで聴く事ができないので連続物にならないか。

事務局／出演者が限られてしまうので、連続物にしてしまうと出演者の幅を持たせにくくなってしまう。1時間全て聴くのは難しいので、時間を短くするなど編成を考え直したい。

田中委員／FMでラジオドラマは驚いた。聴いて楽しむ事ができた。

「その他」

角田委員／入院している時に森繁久弥さんの朗読を聴いてとても感動した。

名作を朗読するコーナーを作ってみてはどうか

事務局／地域性が出しにくいのが、読み手を地域の人にするなど今後検討してみたい。

次回開催は平成 25 年 3 月 27 日（水）を予定。

以上

文責：コンテンツ部 三輪 武司